

お祝いの言葉

本日ここに、学校法人国際学園星槎大学の学位記授与式が挙行されるにあたり、星槎大学発祥の地である北海道芦別市議会を代表しまして一言、お祝いの言葉を申し上げます。

本日、晴れて学位記を授与された皆様、誠におめでとうございます。
心からお慶び申し上げます。

星槎大学は、共生科学を唯一の学部・学科とすることを礎に、ユニークで、且つ、常に発展的な学校運営に力を注いでおられますことに対しまして、深く敬意を表する次第であります。

星槎大学の教育の基本理念に「人と人、そして人と自然とが共生する社会の創造に貢献することを目的とし、『共生』という理念で結ばれる、教育、福祉、環境、国際関係及びそれらを横断する広い知力、共生する心の耕作、様々な問題を前向きに解決しようとする課題探求能力の育成、特別支援教育を担う教師等の育成を目指しています。」とあるとおり、これらの基本理念に沿って習得された知識と教養をもって、皆様はこれからそれぞれの道へ歩むべく、その第一歩を踏み出されるわけではありますが、ご承知のように、現在、日本国内のみならず、世界が新型コロナウイルスの猛威に直面し、その結果、各国は社会・経済・文化等のあらゆる分野において、甚大な被害を受けている状況下にあるわけであります。

しかしながら、社会がかつて経験したことの無い未知の難題に遭遇した時に求められるものは、これから先も、自らの頭で考え、解決への道を切り開いていく教養の力だと私は確信しています。教養の学びに終わりはありません。むしろ大学を出てからが本番だと思っておりますし、皆様方には、星槎大学の卒業生としての誇りをもって、立派な社会人としてご活躍されることをご期待申し上げます。

結びに、星槎グループ宮澤会長をはじめ、山脇学長、教職員の皆様さらには関係各位のご労苦に対しまして、深く敬意と感謝の意を表しますとともに、星槎グループ並びに星槎大学が今後ますます発展されますことをご祈念申し上げます。お祝いの言葉といたします。

令和3年3月20日

芦別市議会議長 田森 良隆